

三多摩公立博物館協議会加盟館一覧

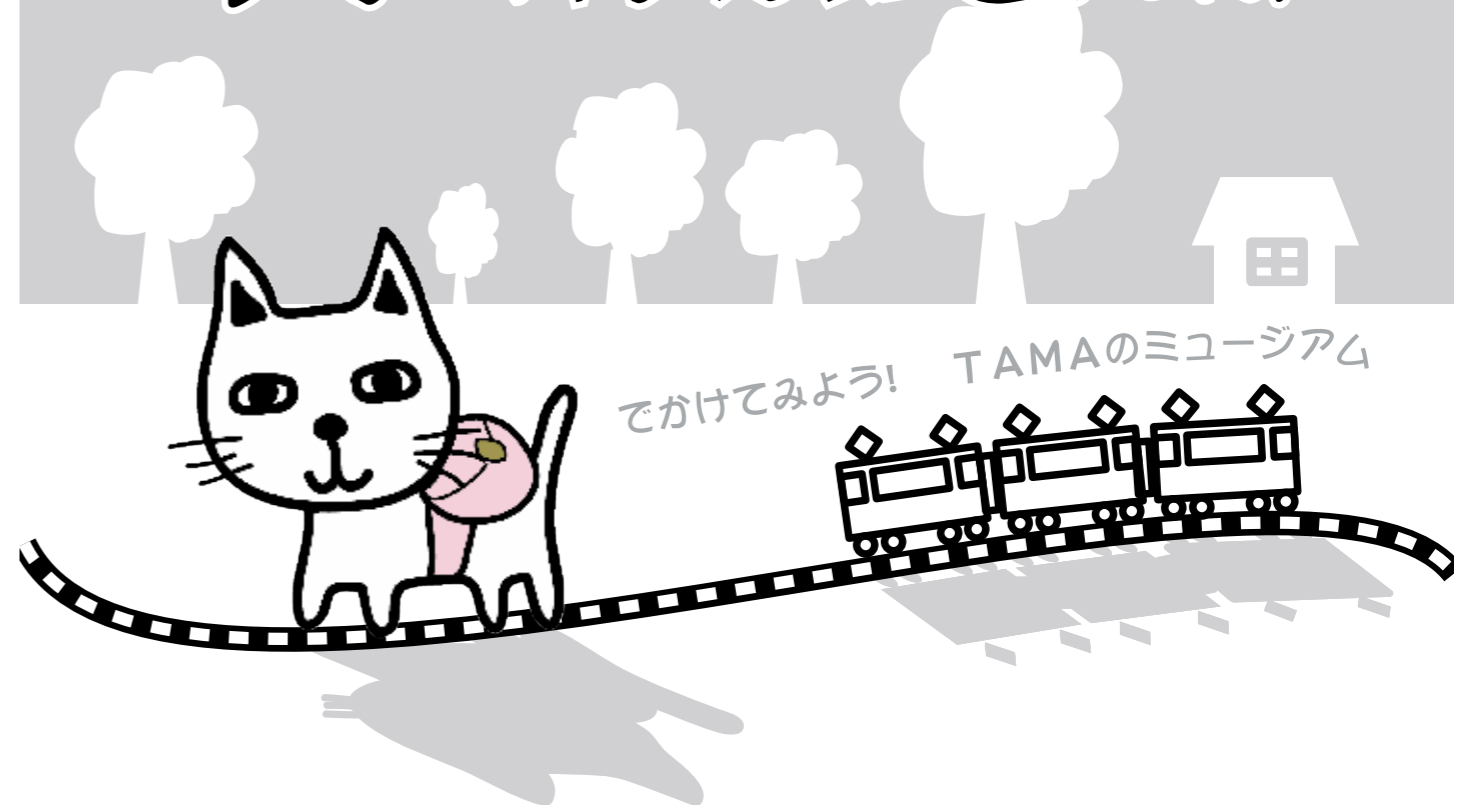
No.	館名	住所	電話	交通
1	奥多摩水と緑のふれあい館	〒198-0223 東京都西多摩郡奥多摩町原5	0428-86-2731	JR青梅線「奥多摩駅」から小河内方面行きバス「奥多摩湖」下車
2	檜原村郷土資料館	〒190-0211 東京都西多摩郡檜原村3221	042-598-0880	JR五日市線「武蔵五日市駅」から藤倉行きバス「郷土資料館」下車
3	たましん御岳美術館	〒198-0173 東京都青梅市御岳本町1-1	0428-78-8814	JR青梅線「御岳駅」下車徒歩20分
4	青梅市郷土博物館	〒198-0053 東京都青梅市駒木町1-684	0428-23-6859	JR青梅線「青梅駅」下車徒歩15分
5	あきる野市五日市郷土館	〒190-0164 東京都あきる野市五日市920-1	042-596-4069	JR五日市線「武蔵五日市駅」下車徒歩17分
6	羽村市郷土博物館	〒205-0012 東京都羽村市羽741	042-558-2561	①JR青梅線「羽村駅」西口下車徒歩20分 ②東口コミュニティバスはむらん羽村西コース「郷土博物館」下車
7	コニカミノルタサイエンスドーム (八王子子ども科学館)	〒192-0062 八王子市大横町9-13	042-624-3311	JR中央線八王子駅、または京王線「京王八王子駅」からバス「サイエンスドーム」下車、徒歩2分。
8	八王子市郷土資料館	〒192-0902 東京都八王子市上野町33	042-622-8939	①JR中央線「八王子駅」南口から徒歩15分 ②JR中央線「八王子駅」南口からバス「東京家政学院」行き、「上野町三丁目」下車徒歩3分
9	集合住宅歴史館 (独立行政法人 都市再生機構)	〒192-0032 東京都八王子市石川町2683-3	042-644-3751	①JR八高線「北八王子駅」下車徒歩10分 ②JR八王子駅より大和田、東海大学病院経由宇津木台行「ケンウッド前」下車徒歩5分
10	福生市郷土資料室	〒197-0003 東京都福生市熊川850-1	042-530-1120	JR青梅線「牛浜駅」東口下車徒歩7分
11	瑞穂町郷土資料館(けやき館)	〒190-1211 東京都西多摩郡瑞穂町石畑1962	042-568-0634	JR八高線「箱根ヶ崎駅」下車徒歩18分
12	武蔵村山市立歴史民俗資料館	〒208-0004 東京都武蔵村山市本町5-21-1	042-560-6620	多摩モノレール「上台北駅」から武蔵村山市内循環バス三ツ木地区会館行き「かたくりの湯」下車徒歩1分
13	立川市歴史民俗資料館	〒190-0013 東京都立川市富士見町3-12-34	042-525-0860	JR「立川駅」南口から新道福島行き・富士見町乗車場行きバス「団地西」下車徒歩5分
14	日野市郷土資料館	〒191-0042 東京都日野市程久保550	042-592-0981	①多摩都市モノレール・京王線「高幡不動駅」から百草団地方面バス「高幡台団地」下車徒歩5分 ②モノレール「程久保」下車徒歩7分
15	首都大学東京91年館	〒192-0397 東京都八王子市南大沢1-1	042-677-1111	京王相模原線「南大沢駅」下車徒歩約5分
16	東大和市立郷土博物館	〒207-0031 東京都東大和市奈良橋1-260-2	042-567-4800	西武拝島線「東大和市駅」から西武バス「イオンモール」行きで「八幡神社」、または都営バス「青梅車庫」行で「八幡神社前」下車徒歩2分
17	東村山ふるさと歴史館	〒189-0021 東京都東村山市諏訪町1-6-3	042-396-3800	西武新宿・国分寺線「東村山駅」西口下車徒歩8分
18	国立ハンセン病資料館	〒189-0002 東京都東村山市青葉町4-1-13	042-396-2909	西武池袋線 清瀬駅南口から西武バス 久米川駅行き・所沢駅行きで約10分(「ハンセン病資料館」で下車)
19	くにたち郷土文化館	〒186-0011 東京都国立市谷保6231	042-576-0211	JR南武線「矢川駅」下車徒歩8分
20	たましん歴史・美術館	〒186-8686 東京都国立市中1-9-52	042-574-1360	JR中央線「国立駅」南口前
21	パルテノン多摩歴史ミュージアム	〒206-0033 東京都多摩市落合2-35	042-375-1414	京王相模原線・小田急多摩線・多摩モノレール「多摩センター駅」下車徒歩5分
22	東京都埋蔵文化財センター	〒206-0033 東京都多摩市落合1-14-2	042-373-5296	京王相模原線・小田急多摩線・多摩モノレール「多摩センター駅」下車徒歩5分
23	町田市立博物館	〒194-0032 東京都町田市本町田3562	042-726-1531	小田急線・JR横浜線「町田駅」から藤の台団地行きバス「市立博物館前」下車徒歩7分
24	府中市郷土の森博物館	〒183-0026 東京都府中市南町6-32	042-368-7921	京王線・JR南武線「分倍河原駅」から京王バス郷土の森総合体育館行きバス「郷土の森正門前」下車
25	小金井市文化財センター	〒184-0003 東京都小金井市緑町3-2-37 (浴恩館公園内)	042-383-1198	JR中央線「武蔵小金井駅」北口もしくは「東小金井駅」からココバス北東部循環③「小金井公園入口」下車徒歩5分
26	江戸東京たてもの園	〒184-0005 東京都小金井市桜町3-7-1	042-388-3300	JR中央線「武蔵小金井駅」北口からバス5分「小金井公園西口」下車徒歩5分
27	東京農工大学科学博物館	〒184-8588 東京都小金井市中町2-24-16	042-388-7163	JR中央線「東小金井駅」南口下車徒歩9分
28	清瀬市郷土博物館	〒204-0013 東京都清瀬市上清戸2-6-41	042-493-8585	①西武池袋線「清瀬駅」北口下車徒歩10分 ②駅北口バス乗り場1番から西武バス「郷土博物館入口」下車徒歩1分
29	多摩六都科学館	〒188-0014 東京都西東京市芝久保町5-10-64	042-469-6100	①西武新宿線「花小金井駅」北口下車徒歩18分 ②西武新宿線「田無駅」北口よりはなバス多摩六都科学館行き
30	調布市郷土博物館	〒182-0026 東京都調布市小島町3-26-2	042-481-7656	京王相模原線「京王多摩川駅」下車徒歩4分
31	国立天文台天文機器資料館	〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1	0422-34-3688	中央線武蔵境駅南口から小田急バス「狛江駅行き」天文台前下車、京王線調布駅北口から小田急バス「武蔵境駅南口行き」天文台前下車
32	狛江市立古民家園 (愛称：むいから民家園)	〒201-0013 狛江市元和泉2-15-5	03-3489-8981	①小田急線狛江駅より徒歩10分②狛江駅北口より「多摩川住宅」行きバスまたは「こまバス」(北回り)で「児童公園」バス停前

三多摩公立博物館協議会

催し物案内2015年度春・夏号

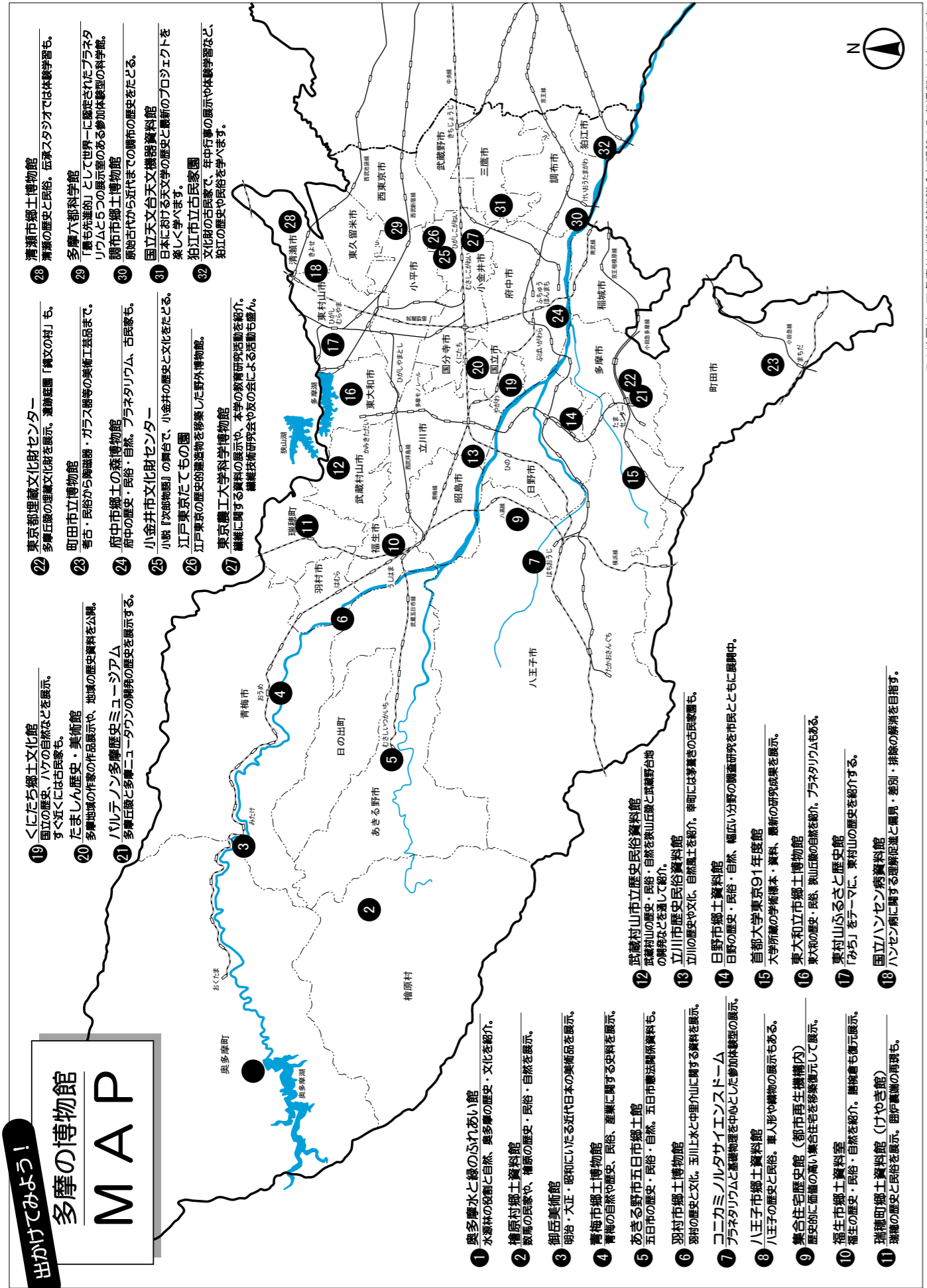
2015年3月～2015年9月

多摩の博物館さんぽ



東京都三多摩公立博物館協議会公式サイト「多摩の博物館に行こう」(<http://tamahaku.jp>)では、新しい情報を公開しています。
「多摩の博物館さんぽ」とあわせて、ご活用ください。
多摩地域の博物館をめぐってみませんか!

出かけてみよう!
多摩の博物館
MAP



- 1 奥多摩水と緑のふれあい館 水廻りの庭園と自然、奥多摩の歴史・文化を紹介。
- 2 榎原村郷土資料館 数馬の歴史や、榎原の歴史・民俗・自然を展示。
- 3 細島美術館 明治・大正・昭和にいたる近代日本の美術品を展示。
- 4 青梅市郷土博物館 青梅の自然や歴史、民俗、産業に関する史料を展示。
- 5 あきる野市五井市郷土館 五日市の歴史・民俗・自然、五日市書法関係資料も。
- 6 羽村市郷土博物館 羽村の歴史と文化、玉川上流と中里川に関する資料を展示。
- 7 プラネタリウムと天体観望を中心とした参加体験型の展示。
- 8 コニカミナリタサイエンスドーム 八王子市郷土資料館 八王子の歴史と民俗、軍人形や機物の展示もある。
- 9 集合住宅歴史館(都市再生機構内) 歴史的に価値の高い集合住宅を移築展示して展示。
- 10 福生市郷土資料館 福生の歴史・民俗・自然を紹介。磨漆器も復元展示。
- 11 瑞穂町郷土資料館(けやき館) 瑞穂の歴史と民俗を展示、旧戸貫の再現も。
- 12 武蔵村山市立歴史民俗資料館 武蔵村山の歴史・民俗・自然を球ヶ丘と武蔵野台地の開発などを通して紹介。
- 13 立川市歴史民俗資料館 立川の歴史や文化、自然風土を紹介。幸町には移築された古民家も。
- 14 日野市郷土資料館 日野の歴史・民俗・自然、幅広い分野の調査研究を市民とともに展開中。
- 15 自和大学東京91年度館 大学所蔵の学術書本・資料、最新の研究成果を展示。
- 16 東大立市郷土博物館 東大の歴史・民俗、東大の自然を紹介。プラネタリウムもある。
- 17 東村山ふるさと歴史館 「みち」をテーマに、東村山の歴史を紹介する。
- 18 国立ハンセン病資料館 ハンセン病に関する理解促進と偏見・差別・排除の解消を目指す。
- 19 くにたち郷土文化館 国立の歴史、ハケの自然などを展示。すぐ近くには古民家も。
- 20 たましん歴史・美術館 多摩地域の作家の作品展示や、地域の歴史資料を公開。
- 21 ハルニシ多摩歴史ミュージアム 多摩丘陵と多摩ニュータウンの開発の歴史を展示する。
- 22 東京都埋蔵文化財センター 多摩丘陵の埋蔵文化財を展示。遺跡地図「縄文の村」も。
- 23 町田市立博物館 考古・民俗から陶磁器・ガラス器等の美術工芸品まで。
- 24 府中市郷土の森博物館 府中の歴史・民俗・自然、プラネタリウム、古民家も。
- 25 小金井市文化財センター 小島1次館の展示で、小金井の歴史と文化をたどる。
- 26 江戸東京たてもの園 江戸東京の歴史的建造物を移築した野外博物館。
- 27 東京農工大学科学博物館 農工に関する資料の展示や、本学の調査研究活動を紹介。継続技術研究会や友の会による活動も盛ん。
- 28 清瀬市郷土博物館 清瀬の歴史と民俗。伝承スタジオでは体験学習も。
- 29 多摩六都科学館 「最も先進的」として世界一に認定されたプラネタリウムと5つの展示室のある参加体験型の科学館。
- 30 調布市郷土博物館 原始古代から近代までの調布の歴史をたどる。
- 31 国立天文台天文機器資料館 日本における天文学の歴史と最新のプロジェクトを、楽しく学べます。
- 32 狛江市立古民家園(愛称:むいから民家園) 文化財の古民家で、年中行事の展示や体験学習など、狛江の歴史や民俗を学べます。

この地図は、三多摩公立博物館協議会加盟館のみを掲載したものです。

28 清瀬市郷土博物館 (042-493-8585)
清瀬の歴史と民俗。伝承スタジオでは体験学習も。

開館時間	9:00 ~ 17:00	休館日	月曜日(祝日の場合は翌日) 12.29 ~ 1.3	入館料	無料
------	--------------	-----	------------------------------	-----	----

●茶つみ・茶もみ(5.17) お茶の葉をつみ、ホイロでお茶作りをする体験ができます。写真家 行田哲夫氏の写真展。武蔵野をテーマに、風景や雑木林の生物などを紹介。
●小麦の棒打ち(7.5) かつて清瀬における主要な生産物の一つであった小麦の脱穀作業を実演します。千歯抜き・足踏み脱穀機・くるり棒・唐箕など昔の農具を使用する体験ができます。
●体験はたおり(7月下旬~8月) 昔ながらの機を使用し、「さきおり」を織る体験ができます。具体的な実施日はお問い合わせください。

【URL】 <http://www.city.kiyose.lg.jp/>

29 多摩六都科学館 (042-469-6100)
「最も先進的」として世界一に認定されたプラネタリウムと5つの展示室のある参加体験型の科学館。

開館時間	9:30 ~ 17:00(入館は16:00まで)	休館日	月曜日(祝日の場合は開館し翌日)、祝日の翌日、年末年始(12.28 ~ 1.3)、保守点検等の臨時休館日(4.7 ~ 10.6.1 ~ 5.9.1 ~ 4)	入館料	大人500円、小人200円(4歳~高校生) プラネタリウム、大型映像は別料金
------	--------------------------	-----	--	-----	---

●春の特別企画展「学ぼう!自然災害 正しく知って身を守る!」(3.21 ~ 4.12)
●GW特別イベント「ロクトロボットパーク2015」(4.25 ~ 5.6) ●夏の特別企画展(7.18 ~ 8.31)
●全編生解説プラネタリウム(毎日投影) ●大型映像「Dream To Fly」(3.21 ~ 未定、毎日上映)
●キッズプラネタリウム「旅するぬいぐるみ」(投影中~7.12、土・日・祝日と春休み中に投影)

【URL】 <http://www.tamarokuto.or.jp>

30 調布市郷土博物館 (042-481-7656)
原始古代から近代までの調布の歴史をたどる。

開館時間	9:00 ~ 16:00	休館日	月曜日(祝日の場合は翌日) 12.29 ~ 1.3	入館料	無料
------	--------------	-----	------------------------------	-----	----

●新収蔵資料展(4.28 ~ 6.28) 近年、市民から寄贈・寄託された資料を展示公開します。
●戦後70年企画展(仮)(7.22 ~ 9.6) 市民の戦争体験を次の世代に伝える資料を展示公開します。

【URL】 <http://www.city.chofu.tokyo.jp/www/contents/1176118850606/index.html>

31 国立天文台天文機器資料館 (0422-34-3688)
日本における天文学の歴史と最新のプロジェクトを、楽しく学べます。

開館時間	10:00 ~ 17:00(入場は16:30まで)	休館日	年末年始(12.28 ~ 1.4)	入館料	無料
------	---------------------------	-----	-------------------	-----	----

【URL】 <http://www.nao.ac.jp/access/mitaka/>

32 狛江市立古民家園(愛称:むいから民家園) (03-3489-8981)
文化財の古民家で、年中行事の展示や体験学習など、狛江の歴史や民俗を学べます。

開館時間	9:30 ~ 16:30	休館日	月曜日(祝日の場合は翌日) 年末年始(12.28 ~ 1.4)	入館料	無料
------	--------------	-----	------------------------------------	-----	----

【URL】 <http://www.city.komae.tokyo.jp/index.cfm/11,0,102,239,html>

23	町田市立博物館（042-726-1531）				
	考古・民俗から陶磁器・ガラス器等の美術工芸品まで。				
開館時間	9:00～16:30	休館日	月曜日（祝日の場合開館、翌日休館）、展示替期間、資料整理期間、館内整理期間	入館料	一般300円※中学生以下無料、障がい者半額
<ul style="list-style-type: none"> ●「和ガラスのうつわ—近代日本のかわいいデザイナー—」（3.14～5.10）明治以降、日本のガラス製造技術は飛躍的な発展を遂げ、ガラス製品の大量生産が可能となった。本展覧会では、宙吹き・型吹き・プレスなどさまざまな技法で作られたガラスの日用の器を、デザインに着目しながら紹介する。 ●「造形美術作家 三橋國民—鎮魂70年目の夏—」（仮称）（7.14～8.30）町田市名誉市民であり、東京都名誉都民である三橋國民の多彩な造形活動の軌跡を総合的に捉え、一人の巨大な芸術家を理解することを試みる。特に、その創作活動の核心にあるニューギニア戦線での体験と、そこから生まれた生涯のテーマ「鎮魂」については、終戦70年を踏まえて集中的に紹介する。 ●「沖縄の工芸」（仮称）（9.8～9.27、9.29～10.18）町田市では毎年9月に、エイサーの演舞を中心とした祭りである「フェスタまちだ」が開催されるなど、沖縄の文化は町田市民にとって馴染み深いものとなっている。その「フェスタまちだ」の開催時期にあわせ、町田市立博物館では沖縄の工芸の中から「ガラス」「漆器」「染織」「陶磁器」を取り上げ、その技法や制作工程に着目しながら紹介する。 					
【URL】 http://www.city.machida.tokyo.jp/					

24	府中市郷土の森博物館（042-368-7921）				
	府中市の歴史・民俗・自然。プラネタリウム、古民家も。				
開館時間	9:00～17:00	休館日	月曜日（祝日の場合は翌日） 12.29～1.3 年末年始	入館料	大人200円 4歳～中学生100円
<ul style="list-style-type: none"> ●企画展「府中のゴシュウギ〜むかしの結婚式」（4.11～6.28）むかしの府中における結婚式の衣装や道具類を展示し、結婚の作法やそれにまつわる風習について紹介します。 ●企画展「隕石展」（仮称）（7.11～9.27）さまざまな隕石を展示します。 ●特別展「あしもとネイチャーワールド 夏の生きもの甲子園」（7.18～8.30）夏休みに段丘崖・浅間山・多摩川で観察できる代表的な生き物を展示します。 ●郷土の森あじさいまつり（5.30～7.5）園内の古民家とあじさいのコラボレーションをお楽しみください。 					
【URL】 http://www.fuchu-cpf.or.jp/museum/index.html					

25	小金井市文化財センター（042-383-1198）				
	小説『次郎物語』の舞台で、小金井の歴史と文化をたどる。				
開館時間	9:00～16:30	休館日	月曜日（祝日の場合は翌日） 12.29～1.3 館内整備のための臨時休館日	入館料	無料
<ul style="list-style-type: none"> ●当館は作家下村湖人が青年団講習所の所長として講習生と語り、小説『次郎物語』の構想を練った浴恩館を改修して資料館としたものです。市内の考古資料・古文書・民具をもとに、小金井市のあゆみや生活について常設展示しています。 ●季節展「名勝小金井（サクラ）展」（3.28～5.6） 					
【URL】 http://tamahaku.jp/kojin/					

26	江戸東京たてもの園（042-388-3300）				
	江戸東京の歴史的建造物を移築した野外博物館。				
開館時間	9:30～17:30（入園は17:00まで）	休館日	月曜日（祝日の場合は翌日） 年末年始	入館料	大人400円、中（都外）高生200円 大学生320円、65才以上の方200円 小中（都内）無料
<ul style="list-style-type: none"> ●「下布田遺跡—武蔵野の歴史と考古学—展」（3.28～5.17） ●こどもの日イベント（5.4・5） たくさんの鯉のぼりが泳ぐ園内で、こどもたちが楽しめるさまざまな催しを行います。 					
【URL】 http://www.tatemonoen.jp/					

27	東京農工大学科学博物館（042-388-7163）				
	繊維に関する資料の展示や、本学の教育研究活動を紹介。繊維技術研究会や友の会による活動も盛ん。				
開館時間	10:00～17:00（入館は16:00まで）	休館日	日曜・月曜・祝日、5月31日（創立記念日）、年末年始等	入館料	常設展無料
<ul style="list-style-type: none"> ●企画展「未来の再生可能エネルギー展」（3.17～6.13） ●巡回展「国際土壌年移動展示」（仮）（6.27～7.11）（予定） ●企画展「東京農工大学の草の根国際技術協力 半乾燥地から湿潤熱帯まで—持続的農業と地域復興」（仮）（8月～9月）（予定） ●巡回展「日本の生物多様性とその保全」（仮）（8.1～9.30）（予定） ●国際博物館の日関連イベント（館内ワークショップ開催）（5.16） 					
※最新情報はHPをご確認ください。 【URL】 http://www.tuat.ac.jp/~museum/					

1	奥多摩水と緑のふれあい館（0428-86-2731）				
	水源林の役割と自然、奥多摩の歴史・文化を紹介。				
開館時間	9:30～17:00	休館日	水曜日（祝日の場合は翌日） 12.28～1.4	入館料	無料
<ul style="list-style-type: none"> ●奥多摩の豊かな自然とダムとの仕組みや水の大切さなどを紹介し、東京都の水源である奥多摩町と水道を利用する都市住民とのふれあいの場として、奥多摩町の歴史・文化・郷土芸能・地場産業等の紹介及び展示を映像等で分かりやすく紹介している。 ●春の奥多摩ミニコンサート（4.18・4.19）午前・午後の2回公演 2日間延べ4回 ソプラノ歌手による歌と演奏 出演：ソプラノ歌手 他 ●水道週間（6.1～7）記念品の配布等 ●ダム写真展（8.1～31）「奥多摩湖周辺の四季」等の写真展示 ●夏のフラダンスショー（8.8）午前・午後の2回公演 フラダンスの音楽と公演 ●水源郷土芸能公演（9.13）11:00頃～14:30頃まで 小河内の郷土芸能（獅子舞、鹿島踊り） 					
【URL】 http://www.okutama.gr.jp/					

2	檜原村郷土資料館（042-598-0880）				
	数馬の民家や、檜原の歴史・民俗・自然を展示。				
開館時間	4月～11月 9:30～17:00 12月～3月 10:00～16:00	休館日	火曜日（祝日の場合は翌日） 年末年始	入館料	無料
<ul style="list-style-type: none"> ●当館では「自然と観光」「歴史と民俗」の2つをテーマに景観や動植物、遺跡発掘時の出土品及び民具並びに兜式入母屋造りと呼ばれる古民家の模型などが展示されております。又、自然の移り変わり及び村の諸行事を収めたDVD「檜原歳時記」の鑑賞が常時可能となっております。 ●常設展「自然と観光」「歴史と民俗」 ●特別展「夏休み昆虫標本展」（7.19～8.30）主に檜原村内で採集された昆虫の標本448点を夏休み期間中展示する。 					
【URL】 http://www.vill.hinohara.tokyo.jp/contents/sisetu/siryoukan/siryoukan.html					

3	たましん御岳美術館（0428-78-8814）				
	明治・大正・昭和にいたる近代日本の美術品を展示。				
開館時間	10:00～16:30 （11月～3月は16:00まで）	休館日	月曜日（祝日の場合は翌日） 年末年始	入館料	一般500円、高大生400円 小中生300円
<ul style="list-style-type: none"> ●近代美術の流れ—日本人の“洋”画—（3.8～9.23） 常設展示「日本近代彫刻の魁 新宿中村屋の作家たち」 第1展示室 たましんコレクションより 倉田三郎記念室 倉田三郎 旅の素描—アジアの風景— ギャラリーートーク（5.17）（7.12）各日11:00～・13:00～ ●スケッチの日 ①桜の日（4.11～12） ②倉田三郎生誕記念日（8.21～22） *当日ご来館の方には記念品をプレゼント！ 					
【URL】 http://www.tamashin.or.jp/mitake.html					

4	青梅市郷土博物館（0428-23-6859）				
	青梅の自然や歴史、民俗、産業に関する資料を展示。				
開館時間	9:00～17:00	休館日	月曜日（祝日の場合は翌平日） 12.29～1.3	入館料	無料
<ul style="list-style-type: none"> ●収蔵品展「発掘体験塾発表会～霞台遺跡から見たもの～」（仮）（4.11～8.2） 平成18年から継続して行われている、夏の学習イベント「発掘体験塾」。これまで行われた事業の歴史を振り返りつつ、霞台遺跡の紹介をします。 ●企画展「戦時下の青梅」（仮）（2014.1.11～3.23） 第二次大戦終戦から70周年を迎えて、改めて平和の尊さを確認するための資料を展示します。 					
【URL】 http://www.ome-tky.ed.jp/shakai/kyodo/index.html					

5	あきる野市五日市郷土館（042-596-4069）				
	五日市の歴史・民俗・自然。五日市憲法関係資料を展示。				
開館時間	9:30～16:30	休館日	火、水曜日、祝日 (水曜日が祝日の場合は翌日も) 年末年始	入館料	無料
<p>●常設展示 五日市郷土館では、歴史・生活・民俗芸能・自然、化石などの展示のほか、五日市憲法草案や日本で始めてナイチンゲール記章を受賞した萩原タケの功績を紹介しています。</p> <p>●企画展示「五日市鉄道創業時を振り返って～開業90周年～」(4.2～12.20) 五日市鉄道創業時を当時の写真を中心に振り返ります。</p> <p>●旧市倉家住宅屋根改修工事が終わりました。 市指定有形文化財の旧市倉家住宅の屋根葺き替え工事が終わりました。3月1日(日)から住宅内部の見学をすることができます。</p> <p>【URL】http://www.city.akiruno.tokyo.jp/contents_detail.php?co=cat&frmlid=1285&frmCd=3-4-4-0-0</p>					

6	羽村市郷土博物館（042-558-2561）				
	羽村の歴史と文化。玉川上水と中里介山に関する資料を展示。				
開館時間	9:00～17:00	休館日	月曜日(祝日の場合は開館) 12.29～1.3	入館料	無料
<p>●企画展「祝いの着物」(3.21～7.26)</p> <p>●特別展「玉川上水羽村堰～今に生きる先人の知恵と工夫～(仮)」(8.15～12.23)</p> <p>●体験学習会「まゆから糸を引こう!」(8.22)</p> <p>※季節ごとに、「五月人形」「七夕かざり」「お月見かざり」の季節かざりを行っています。</p> <p>【URL】http://www.city.hamura.tokyo.jp/0000005474.html</p>					

7	コニカミノルタサイエンスドーム（八王子市こども科学館）（042-624-3311）				
	プラネタリウムと基礎物理を中心とした参加体験型の展示。				
開館時間	10:00～17:00(ただし火～金曜 9:00～12:00は事前予約団体専用)	休館日	月曜日、祝日の翌日、年末年始 など(夏休み期間は無休)	入館料	大人200円、4歳～中学生100円 (プラネタリウム料金別)
<p>●プラネタリウム上映番組(4.18～7.12) 「大恐竜時代～恐竜パッチの大冒険」「かいけつゾロリ～宇宙たんけん大さくせん」「銀河鉄道の夜」を上映中。 各番組の前半では当日の星空についての生解説もあります。上映時間等詳細はお問い合わせください。</p> <p>●「星空コンサート」「星空観望会」を随時開催。また土日祝日には親子で楽しむ工作教室、実験ショー、生きもの講座などを開催しています。</p> <p>【URL】http://www.city.hachioji.tokyo.jp/kyoiku/gakushu/sciencedome/</p>					

8	八王子市郷土資料館（042-622-8939）				
	八王子の歴史と民俗を紹介。車人形や織物の体験も。				
開館時間	9:00～17:00	休館日	月曜日(祝日の場合は翌日)、 祝日の翌日、年末年始、 その他館内整理日	入館料	無料
<p>●コーナー展『新収蔵展』(4.11～3.27) 平成26年度中に新しく寄贈された資料を紹介します。</p> <p>●コーナー展『八王子市の発掘成果展』(6.6～7.12) 八王子市内で行われた発掘調査の成果を紹介します。</p> <p>●特別展『戦後70年 昭和の戦争と八王子』(仮称)(7.22～9.30) 太平洋戦争終戦70年の節目に、当時の戦争と戦時下の八王子の様子を資料から振り返ります。</p> <p>【URL】http://www.city.hachioji.tokyo.jp/kyoiku/rekishibunkazai/kyodoshiryokan/index.html</p>					

9	集合住宅歴史館（独立行政法人 都市再生機構）（042-644-3751）				
	歴史的に価値の高い集合住宅を移築復元して展示。				
開館時間	13:30～16:30	休館日	土・日曜日、祝日、年末年始 (2013年4月～)	入館料	無料 ※事前予約制
<p>●関東大震災復興のため建設された“同潤会代官山アパート”、戦後の住宅不足解消のため建設された“公団住宅”の一部を移築復元。実際に住戸の中に入ってご覧いただけます。</p> <p>●展示内容 同潤会代官山アパート：“独身住戸”、“世帯住戸”、公団住宅：“蓮根団地2DK”、“晴海高層アパート廊下階住戸”、“晴海高層アパート非廊下階住戸”、“多摩平団地テラスハウス”、“住宅設備の変遷”など</p> <p>●見学方法 事前予約制のため予め電話・ホームページで申込みください。</p> <p>【URL】http://www.ur-net.go.jp/rd/</p>					

19	くにたち郷土文化館（042-576-0211）				
	国立の歴史、ハケの自然などを展示。すぐ近くには古民家も。				
開館時間	9:00～17:00 (入館は16:30まで)	休館日	第2、第4木曜日(祝日の場合は翌日) 12.29～1.3	入館料	無料
<p>●写真展「学舎のまち—写真に見るくにたちの学校—」(5.2～5.31) 観覧無料。</p> <p>●五月人形・鯉のぼり飾り(4.17～5.11) 国立市古民家及び郷土館にて開催いたします。</p> <p>●七夕飾り(6.26～7.8) 国立市古民家及び郷土館にて開催いたします。</p> <p>●わらざうり作り(7～8月頃) 詳細はお問い合わせください。</p> <p>【URL】http://www.kuzaidan.com/province/</p>					

20	たましん歴史・美術館（042-574-1360）				
	多摩地域の作家の作品展示や、地域の歴史資料を公開。				
開館時間	10:00～18:00 (入館は17:30まで)	休館日	月曜日、祝日 年末年始	入館料	100円 ※中学生以下無料
<p>●日本人と「型」(3.24～6.14) ギャラリートーク(4.24) 14:00～</p> <p>●お気に入りやさがして(6.30～8.30) ギャラリートーク(7.19・8.8) 14:00～</p> <p>●『多摩のあゆみ』創刊40周年記念 多摩の人・多摩の風景(9.15～12.10) ギャラリートーク(10.23) 14:00～</p> <p>【URL】http://www.tamashin.or.jp/</p>					

21	パルテノン多摩歴史ミュージアム（042-375-1414）				
	多摩丘陵と多摩ニュータウンの開発の歴史を展示する。				
開館時間	10:00～18:00	休館日	不定休(4.14・15、5.12・13、 6.16・17、7.14-16、8.4・5、 9.9・10)	入館料	無料
<p>●特別展「アニメーションと多摩」(～5.24) 40周年を迎える日本アニメーション株式会社(多摩市)における制作者たちの姿を追うとともに、多摩を舞台に用いたアニメーションや、その影響などを通して、アニメーションと地域とのかかわりについて考えます。</p> <p>●企画展「絵図で見る多摩の村々」(～5.11) 多摩市内の旧村が描かれた絵図を紹介します。</p> <p>●企画展「多摩市一ノ宮と水のある暮らし～多摩暮らしの調査団の活動成果から～」(仮)(5.14～9.8) 市民ボランティアの調査成果をもとに、一ノ宮と水のある暮らしを紹介します。</p> <p>●古文書講座初級コース(後期)(9.28、10.5・19、11.2・16・30 全6回) 講師：高尾善希氏</p> <p>【URL】http://www.parthenon.or.jp/museum/ 【Twitter】http://twitter.com/par_tama_museum 【Facebook】https://www.facebook.com/25thparthenon</p>					

22	東京都埋蔵文化財センター（042-373-5296）				
	多摩丘陵を中心とする埋蔵文化財を展示。遺跡庭園「縄文の村」を併設。				
開館時間	9:30～17:00	休館日	12.29～1.3(年末年始) 3.7～	入館料	無料
<p>●「縄文の村」自然観察会①(4.11午前) ●縄文アクセサリ作り教室①(4.11午後)</p> <p>●古代布作り教室①(4.25) ●縄文ワクワク体験まつり(5.3・4) ●縄文土器作り教室①(5.16・17、6.6)</p> <p>●トンボ玉作り教室(①5.30 ②7.11 ③9.19) ●古代糸作り教室(6.20) ●第1回文化財講演会(6.27)</p> <p>●勾玉作り教室①(7.4午前) ●親子縄文土器作り教室(②7.18 ③7.19・8.1)</p> <p>●夏休み親子体験教室 ①勾玉作りほか ②土偶作りほか ③火おこし道具作りほか(①8.13 ②8.14 ③8.21)</p> <p>●縄文土器作り教室④(9.5・6・26) ●第2回文化財講演会(9.12)</p> <p>【URL】http://www.tef.or.jp/maibun/</p>					

10	福生市郷土資料室（042-530-1120）				
	福生の歴史・民俗・自然を紹介。膳椀倉も復元展示。				
開館時間	10:00～17:00	休館日	毎週月曜日（祝日の場合は翌日休館）、年末年始	入館料	無料
<p>●特別展示「ちりめん本 一欧文木版多色刷り絵本―」（1.31～4.19）「ちりめん本」は、和紙に細かいしわをつけることで絹織物のちりめんと連想させる手触りに仕上げた本で、昔話などが描かれています。今回の展示では、郷土資料室でコレクションしている「ちりめん本」をまとめて紹介します。</p> <p>●企画展示「福生むかし絵―記憶画でたどる原風景―」（4.25～7.12）市内在住の窪田成司氏が記憶を元に描いた昭和10年代の福生の風景を描いた絵をまとめて紹介します。</p> <p>●企画展示「平和のための戦争資料展」（7.18～9.13）戦後70年にあたり、福生に残された戦争関係資料から、平和について再認識することを目的とした展示を行います。</p>					
【URL】 http://www.museum.fussa.tokyo.jp					

11	瑞穂町郷土資料館（けやき館）（042-568-0634）				
	瑞穂町の歴史・自然・民俗資料を展示。囲炉裏端の再現も。				
開館時間	9:00～17:00	休館日	第1・3月曜日（祝日の場合は開館し翌日休館）、年末年始（12.29～1.3）、臨時休館日	入館料	無料（企画展は有料になることもあります。）
<p>●ミニ展示「端午の節供」（4.25～5.6） ●春休み子ども折り紙教室（4.5）</p> <p>●郷土歴史講演会（8月を除く月に開催予定） ●地域めぐり「狭山池周辺」（5月）</p> <p>●みずほはたお探検隊（7月～11月） ●夏休み体験教室（8月） ●座談会「富士山地区の昔（戦中・戦後）を語る」（7月）</p> <p>●郷土研修会（9.27） ●炉辺夜話～囲炉裏端で聞く昔話～（毎月2回日曜日、詳細はお問い合わせください）</p>					
【URL】 http://mizuhokyodo.jp					

12	武蔵村山市立歴史民俗資料館（042-560-6620）				
	武蔵村山の歴史・民俗・自然を狭山丘陵と武蔵野台地の開発などを通して紹介。				
開館時間	9:00～17:00	休館日	第1月曜日、第3水曜日（祝日の場合は翌日）、12.28～1.3	入館料	無料
<p>●年中行事展「端午の節供」（4.18～5.10） ●ミニ企画展「村山の俳人」（仮）（5.23～6.28）</p> <p>●年中行事展「七夕飾り」（6.28～7.5） ●夏休み子ども展示「自然を染めよう」（仮）（7.20～9.6）</p> <p>展示会・催し物の詳細については、資料館ホームページ、市報等をご確認ください。</p>					
【URL】 http://www.city.musashimurayama.lg.jp/shiryokan/index.html					

13	立川市歴史民俗資料館（042-525-0860）				
	立川の歴史や文化、自然風土を展示紹介。市内幸町には茅葺きの古民家園。				
開館時間	9:00～16:30	休館日	月曜日（祝日の場合は翌日）	入館料	無料
<p>●原始から近現代の立川の歴史、自然、くらしと道具に関する資料を紹介する常設展示。</p> <p>●ミニ展示「端午の節句展」（4.11～5.6）市内幸町の古民家園でも展示します。</p> <p>●企画展「新収蔵品展」（5.19～6.21）平成26年度新たに寄贈された資料の一部を展示します。</p> <p>●ミニ展示「七夕飾り」（6.30～7.7）季節に合わせた、七夕飾りを展示します。</p> <p>●企画展「立川の遺跡2015」（7.22～9.6）昨年度出土した資料などを紹介します。</p>					
【URL】 http://www.city.tachikawa.lg.jp/shogaigakushu/kosodate/kyoiku/iinkai/shiryokan/rekishiminzoku/index.html					

14	日野市郷土資料館（042-592-0981）				
	日野の歴史・民俗・自然、幅広い分野の調査研究事業を市民とともに展開中。				
開館時間	9:00～17:00	休館日	月曜日（祝日の場合は翌日）12.29～1.3	入館料	無料
<p>●特別展「ほどくぼ小僧 勝五郎生まれ変わり物語―勝五郎生誕200年記念展―」（9.19～11.15）</p> <p>会場：日野市立新選組のふるさと歴史館（入館料が必要）</p> <p>●企画展「多摩平写真日記～すこし昔の日野の風景～」（～4.12）</p> <p>●企画展「どつき土器展～掘り出された昔の暮らし～」（4月18～7月中旬）</p> <p>●企画展「日野市域の自然を探る」（7月下旬～9月下旬）</p> <p>●「勝五郎生まれ変わり物語」公開講演会（5.17） ●「勝五郎生まれ変わり物語」こども講座（7月中旬）</p> <p>●真慈悲寺現地イベント（9.20）</p>					
【URL】 http://www.city.hino.tokyo.jp/museum/					

15	首都大学東京 91年館（042-677-1111・内線2041）				
	大学所蔵の学術標本・資料、最新の研究成果を展示。				
開館時間	11:00～17:00	休館日	土～月曜日、祝日、夏季・冬季・春季休業期間ほか（臨時休館あり）	入館料	無料
<p>●常設展 本学内の7分野（動物系統分類学、植物系統分類学、地形・地質学、日本史学、考古学、社会人類学、芸術学）が保有する研究資料・標本類をご覧ください。首都大学東京の所在する東京・多摩地区に密着した研究成果から、世界各国の話題に至るまで、研究成果を親しみやすくご紹介しています。</p> <p>●その他の企画 ウェブサイト等でお知らせいたします。</p>					
【URL】 http://www.comp.tmu.ac.jp/gakugei/index.html					

16	東大和市立郷土博物館（042-567-4800）				
	東大和の歴史・民俗、狭山丘陵の自然を紹介。1千万個の星を映し出すプラネタリウムが評判。				
開館時間	9:00～17:00	休館日	月曜日（祝日の場合は翌日）祝日の翌日、12.28～1.4	入館料	無料（プラネタリウムは有料）
<p>●企画展示「吉岡堅二新収蔵品展」（～4.19）新たに修復した4点を中心に展示</p> <p>●企画展示「ALMAと星空」（4.25～6.28）チリにある最先端の天体観測施設について紹介</p> <p>●企画展示「戦後70年～私たちのまちは戦場だった～」（7.11～9.6）東大和に残る戦跡や当時の村の暮らしのほか、多摩地域や全国の戦争遺跡についても紹介する。</p> <p>●記念講演会「全国の戦争遺跡の現状と保存」（仮）（8.9）14時～16時 講師：十菱駿武（山梨学院大学客員教授）</p> <p>●企画展示「吉岡堅二展―旅の記憶―祈りのかたち」（9.19～10.25）法隆寺金堂壁画模写や中国の仏像をモチーフにした作品を展示</p> <p>●ロビー展「狭山丘陵で学んだよ」（～5.6）小学生の自然観察の成果を展示</p> <p>●旧日立航空機立川工場変電所特別公開（5.9・10） ●（仮称）東大和郷土美術館特別公開（5.23・24）</p> <p>●プラネタリウム投影／春番組「ドリーム・トゥ・フライ」（～6.7）／夏番組（6.13～9.13）／七夕特別投影（7.4・5）</p> <p>●6.9～12は、館内消毒作業のため休館します。 ●その他各種講座を随時開催</p>					
【URL】 http://www.city.higashiyamato.lg.jp/index.cfm/35,0,366.html					

17	東村山ふるさと歴史館（042-396-3800）				
	「みち」をテーマに、東村山の歴史を紹介する。				
開館時間	9:30～17:00（入館は16:30まで）	休館日	月・火曜日（祝日の場合は開館し、その翌日以降の平日が休館）	入館料	無料
<p>●下宅部遺跡東京都史跡指定記念「東村山の遺跡展」（4.25～6.28）下宅部遺跡が平成26年度東京都指定史跡に指定されたのを記念して、各時代の東村山の中心地域を明らかにしながら、下宅部遺跡をはじめとした市内遺跡を紹介する企画展を行ないます。</p> <p>●終戦70年企画展「東村山地域をめぐる銃後と前線」（7.11～8.30）終戦70年を迎えるにあたり、戦時中の東村山についての企画展を行います。東村山に残された公文書等から明らかになりつつある軍隊と地域の関係や、食糧増産等に活動した銃後としての東村山を紹介します。</p>					
【URL】 http://www.city.higashimurayama.tokyo.jp/tanoshimi/rekishi/furusato/index.html					
◆八国山たいけんの里 東村山市野口町3-48-1 ☎042-390-2161 開館時間・休館日・入館料は上記ふるさと歴史館と同様。					
【URL】 http://www.city.higashimurayama.tokyo.jp/tanoshimi/rekishi/hachikokuyama/index.html					

18	国立ハンセン病資料館（042-396-2909）				
	ハンセン病に関する理解促進と偏見・差別・排除の解消を目指す。				
開館時間	9:30～16:30（入館は16:00まで）	休館日	月曜および「国民の祝日」の翌日、年末年始、館内整理日	入館料	無料
<p>●春季企画展「この人たちに光を一写真家趙根在（チョウゲンジェ）が伝えた入所者の姿―」（～5.31）写真家趙根在が20年以上にわたって全国の療養所10ヶ所に通い、入所者と寝食を共にしながら撮り続けた写真を紹介します。</p> <p>●夏期セミナー「ハンセン病と人権」（8.19～20）定員：80名（申込順）小中学校教員、養護学校教員を対象に夏期セミナーを開催いたします。</p>					
【URL】 http://www.hansen-dis.jp/					